

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	K C S 北九州情報専門学校
設置者名	学校法人 電子開発学園九州

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・ 通信 制の 場合	実務経験のある 教員等による 授業科目の 単位数又は授 業時数	省令で定める 基準単位数又 は授業時数	配 置 困 難
工業専門課程	大学併修科	夜・ 通信	330 時間	320 時間	
	情報エキスパート 科	夜・ 通信	240 時間	240 時間	
	情報スペシャリス ト科	夜・ 通信	180 時間	160 時間	
	ゲームクリエイタ 科	夜・ 通信	270 時間	240 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://www.kcs.ac.jp/kitakyushu/outline/disclosure/>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	K C S 北九州情報専門学校
設置者名	学校法人 電子開発学園九州

1. 理事（役員）名簿の公表方法

希望者には学校備付の役員名簿を閲覧させる。

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員	R6.6.27 ～ R7.6.27	経理・財務
非常勤	株式会社役員	R6.6.27 ～ R7.6.27	法人経営
(備考) 外部理事 総数 2名			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	K C S 北九州情報専門学校
設置者名	学校法人 電子開発学園九州

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 毎年「教育課程編成委員会」を開催して、授業科目の見直しや新設、廃止を決定している。 実施する授業科目については、様式 及び 記載項目(科目名、時間数、科目概要、学習到達目標、講義計画、使用教材、実習環境、目標資格、成績評価方法)、表現方法が統一されている。 それらの科目シラバスは、各学科の講師が次年度の教育実施計画書を作成する3月末までに作成し、4月にホームページ上に公表している。また学生の要求に応じて、いつでも閲覧できるよう職員室に設置する。	
授業計画書の公表方法	https://www.kcs.ac.jp/kitakyushu/outline/disclosure/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 学生の出席状況については、授業科目を実施する毎に出席確認を行い記録している。 また、試験やレポート等の評価については、各授業科目のシラバスに明記しており、その内容に従って適正な評価を行っている。 最終評価点に対する成績評価(秀・優・良・可・不可)については、明確な点数基準を定めており、これらについては修学の手引きに明記することで全学生へ周知している。	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 本学ではG P Aを導入していないものの、5段階の成績評価(秀・優・良・可・不可)を設けて評価を行っている。これらについては修学の手引きに明記することで全学生へ周知している。また、成績の分布状況については、半期毎に通知する成績表に対象学科における「学年順位」を記載しており、学生は自身の成績が下位4分の1に入っていないかを把握できるようにしている。学年順位は個人ごとにすべての科目の試験点数(評価点)の平均を計算し順位付けを行い客観的な指標としている。なお、修学の手引きは、要求に応じて、いつでも閲覧できるように職員室に設置するとともに、学生には年度初めに配布している。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.kcs.ac.jp/kitakyushu/outline/disclosure/
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 教育理念及び目標とする人材像に基づき、実践的なIT人材として必要な以下の能力を身に付け、学則で定める修業年限以上在籍し、所定の科目を履修した学生に対して卒業を認定する。 ・情報システム開発の知識と技術を修得し問題解決に活用できる ・コミュニケーション力を持ち、他者と協働できる ・倫理観を持って行動できる <実施に係る取組> 「修業年限以上在籍」については主に出席状況、「所定の科目を履修」については成績評価状況を基に判断する。 なお、出欠及び成績評価状況は、1年次から半期毎に学生・保護者へ通知のうえ、問題がある場合は適宜フォローを行いながら進級・卒業指導を行い、年度末の「進級・卒業判定会議」を経て、校長が進級・卒業を認定する。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.kcs.ac.jp/kitakyushu/outline/disclosure/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	K C S 北九州情報専門学校
設置者名	学校法人 電子開発学園九州

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	希望者には学校備付けの「貸借対照表」を閲覧させる。
収支計算書又は損益計算書	希望者には学校備付けの「収支決算書」を閲覧させる。
財産目録	希望者には学校備付けの「財産目録」を閲覧させる。
事業報告書	希望者には学校備付けの「事業報告書」を閲覧させる。
監事による監査報告（書）	希望者には学校備付けの「監事による監査報告書」を閲覧させる。

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

(1) 大学併修科

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
工業		工業専門課程	大学併修科				○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
4 年	昼	3,610 単位時間／単位	2,220 単位時間	266 単位時間	1,124 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	
			3,610 単位時間					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
140 人		149 人	0 人	6 人	0 人	6 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 毎年「教育課程編成委員会」を開催して、授業科目の見直しや新設、廃止を決定している。実施する授業科目については、様式 及び 記載項目（科目名、時間数、科目概要、学習到達目標、講義計画、使用教材、実習環境、目標資格、成績評価方法）、表現方法が統一されている。	
成績評価の基準・方法	
（概要） 学生の出席状況については、授業科目を実施する毎に出席確認を行い記録している。また、試験やレポート等の評価については、各授業科目のシラバスに明記しており、その内容に従って適正な評価を行っている。 科目試験の評価基準は次のとおりである。	
90 点以上	秀
80 点以上 90 点未満	優
70 点以上 80 点未満	良
60 点以上 70 点未満	可
60 点未満	不可

卒業・進級の認定基準
(概要) 進級・卒業の認定は、①学科所定の年限以上在籍すること、②学科所定の科目を履修すること、としており、①については主に出席状況、②については成績評価状況を基に判断する。
学修支援等
(概要) 中途退学防止の取組として、担任、学年主任、学科長によるフォローと併せ、スクールカウンセラーによる継続的なカウンセリングを受ける機会を設けている。また、様々なハラスメントを防止するため、ハラスメント防止委員会と相談窓口を設置し、学生からの悩みや相談に対応できる体制を整えている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
39 人 (100%)	0 人 (0 %)	36 人 (92.3%)	3 人 (7.7%)
(主な就職、業界等)			
IT・ソフトウェア・情報処理			
(就職指導内容)			
クラス担任と就職指導スタッフが連携して、学生一人ひとりにあった万全の就職サポートで、就職活動を完全にバックアップ、保護者会、業界動向セミナー、校内企業説明会などを実施している。			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
資格・検定名		受験者数	合格者数
基本情報技術者試験		66 人	20 人
応用情報技術者試験		20 人	4 人
情報処理安全確保支援士試験		4 人	1 人
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
158 人	7 人	4.4%
(中途退学の主な理由) 就職・起業、不適応・意欲低下、心神耗弱・疾患		
(中退防止・中退者支援のための取組) スクールカウンセラーの活用、リメディアル教育等の授業フォローアップ、ハラスメント相談窓口、日本学生支援機構奨学金等		

(2) 情報エキスパート科

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
工業		工業専門課程	情報エキスパート科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	3, 180 単位時間	1, 814 単位時間	200 単位時間	1, 166 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			3, 180 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240 人		189 人	0 人	7 人	0 人	7 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）											
（概要） 毎年「教育課程編成委員会」を開催して、授業科目の見直しや新設、廃止を決定している。実施する授業科目については、様式 及び 記載項目（科目名、時間数、科目概要、学習到達目標、講義計画、使用教材、実習環境、目標資格、成績評価方法）、表現方法が統一されている。											
成績評価の基準・方法											
（概要） 学生の出席状況については、授業科目を実施する毎に出席確認を行い記録している。また、試験やレポート等の評価については、各授業科目のシラバスに明記しており、その内容に従って適正な評価を行っている。 科目試験の評価基準は次のとおりである。 <table> <tr> <td>90 点以上</td><td>秀</td></tr> <tr> <td>80 点以上 90 点未満</td><td>優</td></tr> <tr> <td>70 点以上 80 点未満</td><td>良</td></tr> <tr> <td>60 点以上 70 点未満</td><td>可</td></tr> <tr> <td>60 点未満</td><td>不可</td></tr> </table>		90 点以上	秀	80 点以上 90 点未満	優	70 点以上 80 点未満	良	60 点以上 70 点未満	可	60 点未満	不可
90 点以上	秀										
80 点以上 90 点未満	優										
70 点以上 80 点未満	良										
60 点以上 70 点未満	可										
60 点未満	不可										
卒業・進級の認定基準											
（概要） 進級・卒業の認定は、①学科所定の年限以上在籍すること、②学科所定の科目を履修すること、としており、①については主に出席状況、②については成績評価状況を基に判断する。											
学修支援等											
（概要） 中途退学防止の取組として、担任、学年主任、学科長によるフォローと併せ、スクールカウンセラーによる継続的なカウンセリングを受ける機会を設けている。また、様々なハラスメントを防止するため、ハラスメント防止委員会と相談窓口を設置し、学生からの悩みや相談に対応できる体制を整えている。											

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
69 人 (100%)	0 人 (0%)	69 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) IT・ソフトウェア・情報処理			
(就職指導内容) クラス担任と就職指導スタッフが連携して、学生一人ひとりにあった万全の就職サポートで、就職活動を完全にバックアップ、保護者会、業界動向セミナー、校内企業説明会などを実施している。			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
資格・検定名	受験者数	合格者数	
基本情報技術者試験	90 人	43 人	
応用情報技術者試験	43 人	3 人	
情報処理安全確保支援士試験	3 人	2 人	
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
189 人	14 人	7.4%
（中途退学の主な理由） 不適応・意欲低下、心神耗弱・疾患		
（中退防止・中退者支援のための取組） スクールカンセラーの活用、リメディアル教育等の授業フォローアップ、ハラスメント相談窓口、日本学生支援機構奨学金等		

(3) 情報スペシャリスト科

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程	情報スペシャリスト科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2, 130 単位時間	1308 単位時間	42 単位時間	780 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			2, 130 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 名		49 人	0 人	2 名	0 人	2 名	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）											
（概要） 毎年「教育課程編成委員会」を開催して、授業科目の見直しや新設、廃止を決定している。実施する授業科目については、様式 及び 記載項目（科目名、時間数、科目概要、学習到達目標、講義計画、使用教材、実習環境、目標資格、成績評価方法）、表現方法が統一されている。											
成績評価の基準・方法											
（概要） 学生の出席状況については、授業科目を実施する毎に出席確認を行い記録している。また、試験やレポート等の評価については、各授業科目のシラバスに明記しており、その内容に従って適正な評価を行っている。 科目試験の評価基準は次のとおりである。 <table> <tr> <td>90 点以上</td><td>秀</td></tr> <tr> <td>80 点以上 90 点未満</td><td>優</td></tr> <tr> <td>70 点以上 80 点未満</td><td>良</td></tr> <tr> <td>60 点以上 70 点未満</td><td>可</td></tr> <tr> <td>60 点未満</td><td>不可</td></tr> </table>		90 点以上	秀	80 点以上 90 点未満	優	70 点以上 80 点未満	良	60 点以上 70 点未満	可	60 点未満	不可
90 点以上	秀										
80 点以上 90 点未満	優										
70 点以上 80 点未満	良										
60 点以上 70 点未満	可										
60 点未満	不可										
卒業・進級の認定基準											
（概要） 進級・卒業の認定は、①学科所定の年限以上在籍すること、②学科所定の科目を履修すること、としており、①については主に出席状況、②については成績評価状況を基に判断する。											
学修支援等											
（概要） 中途退学防止の取組として、担任、学年主任、学科長によるフォローと併せ、スクールカウンセラーによる継続的なカウンセリングを受ける機会を設けている。また、様々なハラスメントを防止するため、ハラスメント防止委員会と相談窓口を設置し、学生からの悩みや相談に対応できる体制を整えている。											

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19 人 (100.0%)	0 人 (0%)	19 人 (100.0%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） IT・ソフトウェア・情報処理・営業・販売			
（就職指導内容） クラス担任と就職指導スタッフが連携して、学生一人ひとりにあった万全の就職サポートで、就職活動を完全にバックアップ、保護者会、業界動向セミナー、校内企業説明会などを実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等））			
資格・検定名		受験者数	合格者数
基本情報技術者試験		4 人	2 人
IT パスポート試験		13 人	2 人
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
55 人	6 人	10.9%
（中途退学の主な理由） 不適応・意欲低下、心神耗弱・疾患		
（中退防止・中退者支援のための取組） スクールカンセラーの活用、リメディアル教育等の授業フォローアップ、ハラスメント相談窓口、日本学生支援機構奨学金等		

(4) ゲームクリエイタ科

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
工業		工業専門課程	ゲームクリエイタ科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	3, 180 単位時間	1, 864 単位時間	336 単位時間	980 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			3, 180 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		52 人	0 人	4 人	0 人	4 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）											
（概要） 毎年「教育課程編成委員会」を開催して、授業科目の見直しや新設、廃止を決定している。実施する授業科目については、様式 及び 記載項目（科目名、時間数、科目概要、学習到達目標、講義計画、使用教材、実習環境、目標資格、成績評価方法）、表現方法が統一されている。											
成績評価の基準・方法											
（概要） 学生の出席状況については、授業科目を実施する毎に出席確認を行い記録している。また、試験やレポート等の評価については、各授業科目のシラバスに明記しており、その内容に従って適正な評価を行っている。 科目試験の評価基準は次のとおりである。 <table> <tr> <td>90 点以上</td><td>秀</td></tr> <tr> <td>80 点以上 90 点未満</td><td>優</td></tr> <tr> <td>70 点以上 80 点未満</td><td>良</td></tr> <tr> <td>60 点以上 70 点未満</td><td>可</td></tr> <tr> <td>60 点未満</td><td>不可</td></tr> </table>		90 点以上	秀	80 点以上 90 点未満	優	70 点以上 80 点未満	良	60 点以上 70 点未満	可	60 点未満	不可
90 点以上	秀										
80 点以上 90 点未満	優										
70 点以上 80 点未満	良										
60 点以上 70 点未満	可										
60 点未満	不可										
卒業・進級の認定基準											
（概要） 進級・卒業の認定は、①学科所定の年限以上在籍すること、②学科所定の科目を履修すること、としており、①については主に出席状況、②については成績評価状況を基に判断する。											
学修支援等											
（概要） 中途退学防止の取組として、担任、学年主任、学科長によるフォローと併せ、スクールカウンセラーによる継続的なカウンセリングを受ける機会を設けている。また、様々なハラスメントを防止するため、ハラスメント防止委員会と相談窓口を設置し、学生からの悩みや相談に対応できる体制を整えている。											

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
23 人 (100%)	0 人 (0%)	23 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) IT・ソフトウェア・情報処理			
(就職指導内容) クラス担任と就職指導スタッフが連携して、学生一人ひとりにあった万全の就職サポートで、就職活動を完全にバックアップ、保護者会、業界動向セミナー、校内企業説明会などを実施している。			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
資格・検定名	受験者数	合格者数	
基本情報技術者試験	55 人	10 人	
応用情報技術者試験	10 人	1 人	
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
77 人	5 人	6.5%
（中途退学の主な理由） 不適応・意欲低下、心神耗弱・疾患		
（中退防止・中退者支援のための取組） スクールカンセラーの活用、リメディアル教育等の授業フォローアップ、ハラスメント相談窓口、日本学生支援機構奨学金等		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
大学併修科	100,000 円	438,000 円	346,000 円	
情報エキスパート科	100,000 円	720,000 円	346,000 円	
情報スペシャリスト科	100,000 円	720,000 円	346,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
https://www.kcs.ac.jp/kitakyushu/outline/evaluate		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
企業等委員、卒業生委員および有識者委員から構成される委員会が、学校の自己評価結果をもとに学校運営を評価する。主な評価項目は、教育理念・目標、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生の受入れ募集、財務、法令等の遵守、社会貢献・地域貢献である。その評価結果を教育活動その他の学校運営改善等に生かし、学校運営の客観性と透明性を高めることを目的とする。 学校関係者評価委員の定数は5名である。 評価結果については、校長が責任者として毎年3月までに改善策を反映する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
業界団体役員	令和7年4月1日 ～令和8年3月31日	有識者 (業界団体役員)
株式会社役員	令和7年4月1日 ～令和8年3月31日	企業等
株式会社役員	令和7年4月1日 ～令和8年3月31日	企業等
株式会社従業員	令和7年4月1日 ～令和8年3月31日	卒業生
高等学校職員	令和7年4月1日 ～令和8年3月31日	高校関係者
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
https://www.kcs.ac.jp/kitakyushu/outline/disclosure/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
https://www.kcs.ac.jp/kitakyushu/outline/disclosure/